

お手入れのしかた

●お手入れをする前には必ず電源を切ってください。

グリルやファンなどにホコリや汚れが付着したままご使用されますと、風量低下や異音の原因になります。目安として約1ヶ月に1度の掃除・点検をお願いします。

グリルの掃除

- グリルを外します。(4ページ「本体の取り付け」手順1参照)
- 中性洗剤溶液に浸した布をしぼって、汚れをふきとります。その後、水でしぼった布で洗剤が残らないように十分ふきとってください。

本体・ファンの掃除

注)ファンの取り外しはできません。

- 本体・ファンは取り付けたまま中性洗剤溶液に浸した布をしぼって、汚れをふきとります。その後、水でしぼった布で洗剤が残らないように十分ふきとってください。
- ファンに衝撃を与えたり、モーターの軸に無理な力をかけないでください。故障の原因となります。

お手入れが終わりましたら

- グリルを取り付けます。(4ページ「本体の取り付け」手順4参照)
- つぎのことを確認してください。
 - ①グリルが確実に取り付けられていること。不完全ですと落下することがあり危険です。
 - ②試運転を行います。運転(強、弱)・停止をして異常な振動や騒音がないこと。

ご注意

- モーターなどの電気部品は、水をかけないでください。絶縁不良となり、漏電などの原因になります。また洗剤、スプレー式クリーナーなどでの掃除はおやめください。
- お手入れは中性洗剤をご使用ください。アルコール、シンナー、ベンジンなどを使用しないでください。
- お手入れの際は、必ず厚手の手袋を着用してください。



異常が生じた時

●ご注意 ●ご家庭での修理は危険ですのおやめください。

- 本機が動作しない場合、右の表の点検事項を確認していただき、それでもなお異常のある場合は、事故防止のため使用を中止し電源を切り、お買い求めの販売店または専門施工店にご相談ください。

異常内容	点検事項
運転しない	<ul style="list-style-type: none"> ●ヒューズやブレーカーが切れていませんか。 ●停電ではありませんか。 ●ファンに何か当たっていませんか。 ●本体のスイッチが「切」になっていませんか。

長期ご使用の換気扇の点検を

愛情点検	ご使用の際このような症状はありませんか?	ご使用中止
	<ul style="list-style-type: none"> ・電源(ブレーカー)を入れても時々羽根が回転しないことがある。 ・回転が遅い。または回転が不規則である。(排気が弱い) ・運転中に異常な音や振動がする。 ・焦げ臭いにおいがする。 ・その他の異常がある。 	<p>このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源(ブレーカー)を切り、必ず販売店または下記窓口にて点検・修理を依頼してください。</p>

仕様

性能表							取付パイプ (単位:mm)	
品番	電圧(V)	周波数(Hz)	消費電力(W)	風量(m³/h)	騒音(dB)	重量(kg)	取付パイプ	内径
AP-100S	強	100	50/60	4.0/4.5	80/83	33/35	塩ビ管・鋼板管	φ100
	弱			2.7/2.8	50/55	24/26		

アフターサービスについて

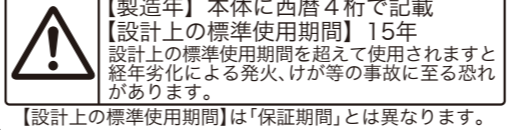
- ①この製品は保証書がついております。お買上げの際に、販売店または専門施工店よりかならず保証書の「お買上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。
- ②保証期間はお買上げ日より1年です。保証書の記載内容により修理致します。その他詳細は保証書をご覧ください。
- ③保証期間経過後の修理については販売店または専門施工店にご相談ください。日本電興株式会社は依頼店からの注文により補修用性能部品を供給します。
- ④換気扇の補修用性能部品の最低保有期間は製造切後6年です。性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。
- ⑤アフターサービスについてご不明の場合は、お買上げの販売店または専門施工店か本書に記載の日本電興株式会社へお問い合わせください。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容の表示を本体に行っています。

本体表示例



【製造年】本体に西暦4桁で記載
 【設計上の標準使用期間】15年
 設計上の標準使用期間を超えて使用されますと経年劣化による発火、けが等の事故に至る恐れがあります。
 【設計上の標準使用期間】は「保証期間」とは異なります。

■標準使用条件

日本工業規格 JIS C 9921-2Iによる

環境条件	電圧	単相100V	
	周波数	50Hz及び/又は60Hz	
	温度	20℃	
	湿度	65%	
	設置条件	標準設置	取扱説明書による
負荷条件		定格負荷(換気扇)	取扱説明書による
想定時間	1年の使用時間	換気時間 *a) 居室 2,193時間/年 トイレ 2,614時間/年	

注記 表の温度20℃・湿度65%は、JIS C9603の試験状態を参考としている。
 *a)常時換気(24時間連続換気)のものは、8,760時間/年とする。

パイプ用ファン 保証書

形名	AP-100S		
無償修理保証期間	お買上げ年月日:	年	月 日より1年間(本体)
お客様	ご芳名	様	TEL
	ご住所	〒	
販売店	店名	TEL	
	住所		印
製造年月			

本書は本書記載内容で無償修理を行うことをお約束するものです。上記「無償修理保証期間」中に故障が発生した場合は、商品と本書をご持参ご提示のうえお買上げの販売店に修理をご依頼ください。

- 所定記入欄が空欄のままですと、本書は有効とはなりません。記入のない場合は直ちにお買上げの販売店へお申し出ください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用して頂く場合がございますので、ご了承ください。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

<無償修理規定>

1. 取扱説明書、本体添付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合は、無償修理いたします。
2. ご転居、ご贈答品等で修理依頼ができない場合には、下記に記載の日本電興(株)各販売店へご相談ください。
3. 保証期間内でも、次のような場合には有償修理となります。
 - (イ) 使用上の誤りや不当な修理、改造による故障及び損傷。
 - (ロ) お買上げ後の転倒、取付け場所の移動、輸送、落下等による故障及び損傷。
 - (ハ) 火災、地震、風水害、ガス害、落雷、その他天災地変、公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
 - (ニ) 一般家庭用以外(例えば業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載)に使用された場合の故障及び損傷。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
 - (ト) 取扱説明書で禁止されている設置をされた場合。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

修理メモ

※この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権限を制限するものではありません。

日本電興株式会社

営業本部 〒486-0912 愛知県春日井市高山町2丁目31-5
 TEL 0568(34)6688(代) URL http://www.nihondenko.com

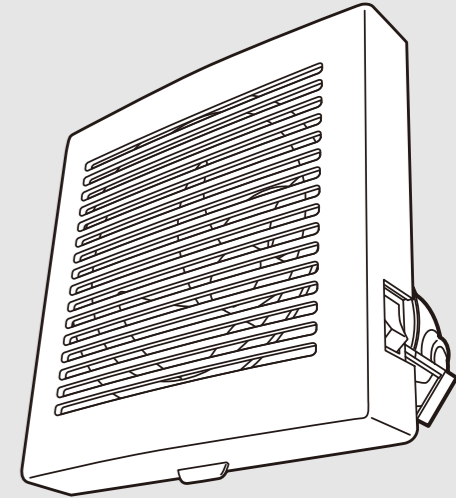
屋内用 居室・トイレ

取付工事専用

AP-100S パイプ用ファン 壁取付専用

速結端子付・本体入切スイッチ付・強弱切替スイッチ付

【24時間常時換気対応】



取扱取付説明書(保証書付)

お買い上げいただきありがとうございます。なお、この取扱取付説明書は、大切に保管してください。

ご使用になる前に

- この取扱取付説明書を最後までお読みのうえ正しくお使いください。
- お客様ご自身で取り付けしないでください。必ず専門の工事店へ依頼してください。

※ここに示した注意事項は、表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の大きさと切迫の程度を、次の表示で区分し、説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	禁止行為であることを告げるもので、近傍に具体的な内容を説明しています。
	本体各部に直接水やお湯、かび取り剤をかけないでください。ショート・感電、及び変色・ヒビ割れの原因になります。
	行為を強制したり指示をするもので、近傍に具体的な内容を説明しています。
	お手入れの際は、分電盤のブレーカーを切ってください。感電やケガをする原因になります。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

〈安全上のご注意〉

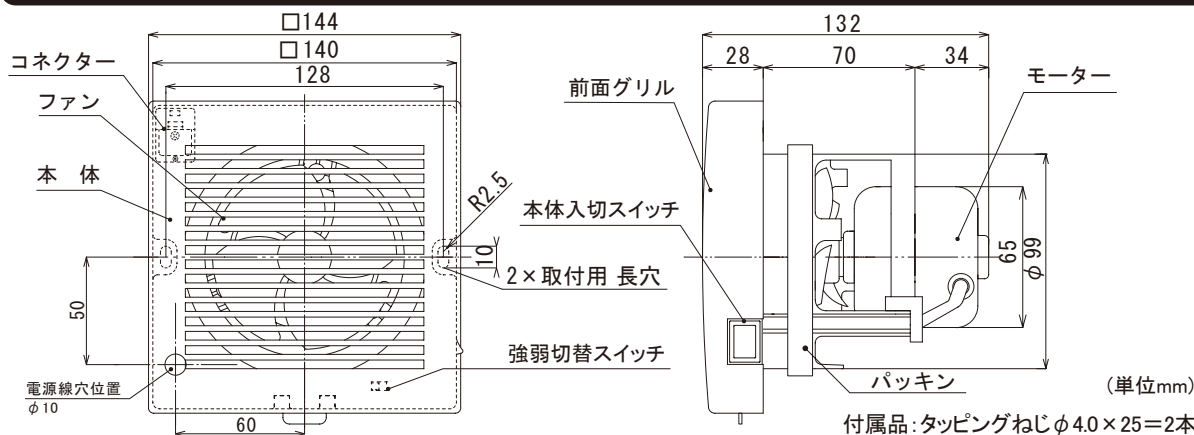
換気扇を正しく安全に取り付け、ご使用頂くために、つぎのことを必ずお守りください。

⚠ 警告	
⚡	修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造はおこなわないでください。発火したり、異常動作してケガの原因となります。
⚡	交流100V以外では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
⚡	直接炎があたる恐れのある場所や油煙・有機溶剤のある場所には取り付けしないでください。火災の原因となります。
⚡	傷んだ電源線は使用しないでください。感電・ショート・発火の原因となります。
⚡	ガス漏れのときは換気扇のスイッチを入・切しないでください。スイッチの火花により爆発や引火の原因となります。
⚡	浴室など湿気の高い場所には取り付けしないでください。感電・故障の恐れがあります。
⚡	浴室内に壁スイッチを設置しないでください。ショート・感電の恐れがあります。
⚡	濡れた手で電源スイッチや強弱切替スイッチの操作をしないでください。感電やケガの原因となります。
⚡	本体各部に直接水やお湯、かび取り剤をかけないでください。ショート・感電、及び変色・ヒビ割れの原因となります。
⚡	お手入れの際モーター・コンデンサー・スイッチ・コネクター(速結端子)等の電気部品は水に浸したりしないでください。感電・故障の原因となります。
⚡	配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実にこなしてください。接続不良や誤った配線工事は、感電・火災の原因となります。
⚡	メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクト及び本体部が貫通する場合、金属製ダクト及び本体部とメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないように取り付けしてください。漏電した場合、発火の原因となります。
⚡	ご使用中に異常「回転が止まる・音が大きくなる・回転ムラ・異常な匂い・振動」等が発生したら直ちに使用をやめてください。火災や感電の恐れがあります。
⚡	お手入れの際は必ず電源スイッチを切り、さらに電源(ブレーカースイッチ)を切ってからこなしてください。感電やケガの原因となります。

⚠ 注意

⚡	天井には取り付けしないでください。屋内の壁取付専用です。
⚡	塩害・温泉害の発生している場所では使用しないでください。故障の原因となります。
⚡	居室・トイレ・洗面所以外では使用しないでください。故障の原因となります。
⚡	ファンを決して取り外さないでください。異音・故障の原因となります。
⚡	運転中は危険ですからファンの中に指や物を入れないでください。ケガの恐れがあります。
⚡	本体の取付工事は充分強度のあるところを選んで確実にこなしてください。落下によりケガの原因となります。
⚡	グリルの取り付けは確実にこなしてください。落下によりケガをする恐れがあります。
⚡	お手入れの際は必ず厚手の手袋を着用してください。部品の端などでケガの原因となります。

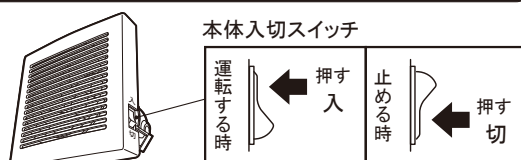
各部の名称と寸法



使いかた

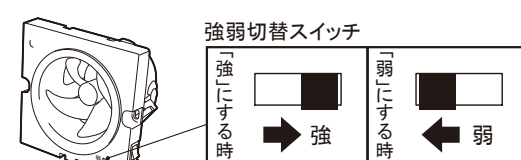
【本体入切スイッチ】 工場出荷時設定:「入」

- 右図のように、電源の入切操作をします。
- 本機のお手入れをする時は必ず本機を停止してください。本体側面についている「本体入切スイッチ」を「切」の状態にしブレーカーを切って作業をしてください。
- ※24時間換気としてご使用のときは、特別な場合(運転異常・点検・お手入れなど)を除き「本体入切スイッチ」を「入」にしてご使用ください。



【強弱切替スイッチ】 工場出荷時設定:「強」

- 本体側面に付いている「本体入切スイッチ」を「切」の位置にし換気扇を停止させます。グリルを外し本体前面についている「強弱切替スイッチ」で風量を切替します。その後グリルを取り付け「本体入切スイッチ」を「入」の位置にしてご使用ください。
- ※本機を24時間換気用としてご使用される場合は建築基準法に基づいて計算された風量設定(強又は弱)でご使用ください。

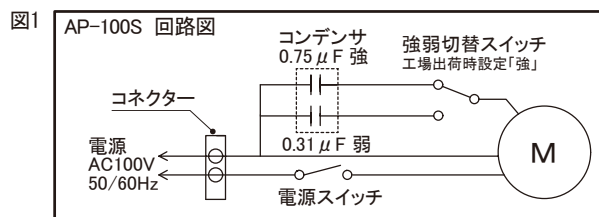


使用上の注意

- 回転中のファンに、指やものを入れないでください。ケガの原因となります。
- 換気扇をふさいだり、物を掛けたりしないでください。
- お使いになる前には、必ず電源線や差込みプラグを点検してください。いたんだまま使いますとやけど、感電、火災などの原因となります。

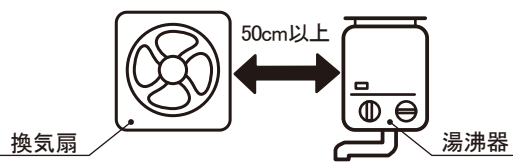
取り付け時の注意

- 壁・天井からの距離を守ってください。グリルの着脱ができなくなります。
- 木枠や本体の固定が不十分だと、振動や騒音などの原因となりますのでご注意ください。
- 本体と壁面の間に隙間ができないようにしてください。本体と壁面に隙間ができると空気もれの原因となります。
- 取付工事は必ず専門の工事店へ依頼してください。
- 電源は必ず正しく配線された交流100ボルトを使ってください。
- 電源線(VVFケーブル φ1.6, φ2.0)を皮むきして、コネクターに芯線が止まるまで確実に奥まで強く差し込んでください。
- 接続パイプは(図2)のような配管工事はしないでください。雨水進入の原因となります。
- コンクリートなどの壁穴には直接本体を取り付けしないでください。取り付けが不十分になり、本体が落下する恐れがあります。
- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクト及び本体部が貫通する場合、金属製ダクト及び本体部とメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないように取り付けしてください。
- 換気扇の対面に新鮮な空気を取り入れる給気口を設けてください。



取付場所の選びかた

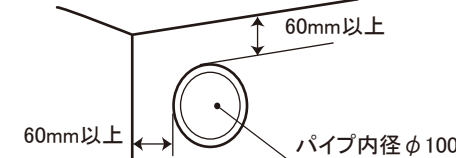
- 本製品は屋内壁面取付用です。パイプ用ファンは、高温(周囲温度が40℃以上)になる場所や、薬品を使う場所には取り付けしないでください。絶縁が悪くなり感電する恐れがあります。
- ガス湯沸器からは50cm以上離して取り付けしてください。



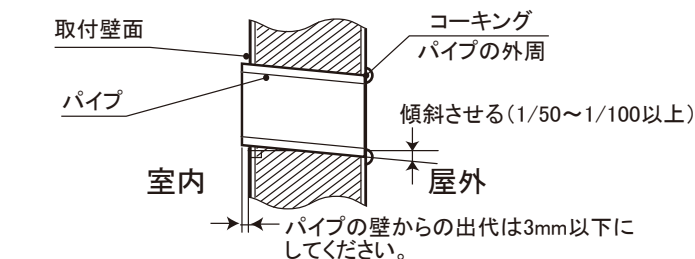
取付方法

パイプの取り付け

- パイプの取り付け穴は壁や天井から60mm以上離してください。床面から1800mm以上のメンテナンス可能な位置に取り付けてください。

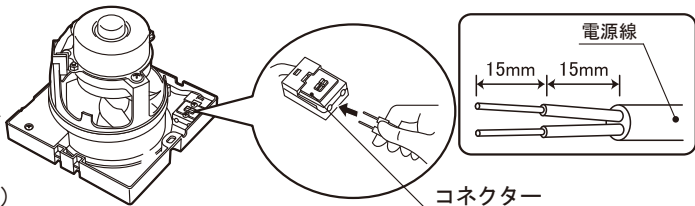


- パイプ(別売品)を壁に埋め込む。パイプは必ず屋外側に下り勾配をつけて取り付けしてください。パイプと壁の隙間はコーキング処理を施します。



電源線の接続

- 壁にφ10mmの穴をあけ、電源線を引き出します。(3ページ「各部の名称と寸法」電源線穴位置参照)
- 電源線(VVFケーブル φ1.6, φ2.0)を皮むきしてコネクターに芯線が止まるまで確実に奥まで強く差し込んでください。(3ページ「取り付け時の注意」図1の回路図参照)

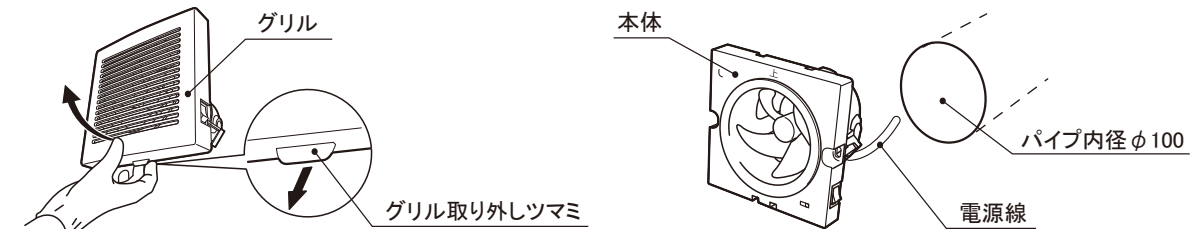


- 注意 ●取付工事は、必ず専門の工事店へ依頼してください。壁付けスイッチ(別売品)は必ず活線側に取り付けください。●壁付けスイッチ(別売品)で電源の入切操作をする場合は、「本体入切スイッチ」を「入」の状態にしてください。

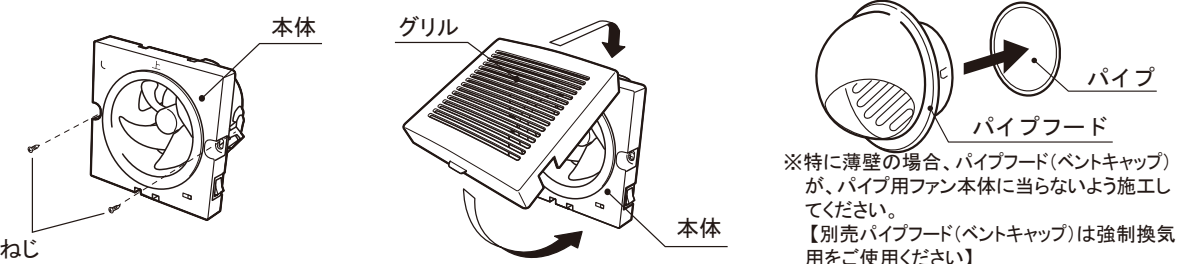
本体の取り付け

⚠ 注意 天井には取り付けしないでください。

- グリル下部を押さえながら、「グリル取り外しツマミ」を事前に引き上げグリルを外します。
- 電源線の接続・本体の上下を確認し、壁に埋め込み・だ内径100mmのパイプに挿入します。



- 本体を付属ねじ(2本)で確実に固定します。
- グリルの上部を本体上部にひっかけ、下部を押して、はめ込みます。
- 外壁面には、別売パイプフード(ベントキャップ)等を取り付けます。



※特に薄壁の場合、パイプフード(ベントキャップ)が、パイプ用ファン本体に当たらないよう施工してください。【別売パイプフード(ベントキャップ)は強制換気用をご使用ください】

試運転を行う

- 以上で、換気扇の取り付けが完了しました。次の取り付けと運転について確認してください。
- 製品の取付強度が十分であること。
 - 運転したとき異常音・異常な振動がないこと。
 - 運転(強・弱)・停止するかを確認してください。